

北見武道通信

令和6年10月17日 00713号

編集者:佐藤寿春

北見市幸町8丁目4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

satou.toshiharu@navy.plala.or.jp

URL <http://www.kitamibudokan.org/>



ニュースレター【事務局情報】大東流合気武道初心者教室が開催！

10月13日(日)北見市武道館「道場1」で「大東流合気武道初心者教室」が開催されました。大東流合気とは日本古来の武道で、^{たけだそうかく}武田惣角(中興の祖)によりこの地に伝えられています。会場には小中高生5名を含む41名の参加者で熱気あふれる初心者

教室となりました。主催した伊藤隆史師範は「予定人数を超える参加者でとても嬉しく思う」と喜びを伝えてくれました。(佐藤)

北見市武道館「令和6年度消防訓練実施」

10月8日(火)北見市武道館は消防訓練を実施しました。熱(約65°C)に感知器が反応し火災報知器が作動すると館内は緊迫した状態になるも、冷静な119番通報並びに消火作業や避難誘導など消防訓練が利用者の協力を得て無事終了しました。(佐藤)



事務所の花シリーズ

「斑入りツユクサ」庭に「斑入りツユクサ」が綺麗に咲きました。(渋谷)

連載 中国「老子」の思想

五十五章 無心の強さ

内面に多大の徳を秘めた人は、いわば赤子のごときものである。無心な赤子は、毒虫も刺さない。猛獣も爪をかけない。

猛禽も飛びかからない。体は柔らかくもろいのに、拳だけは固く握りしめている。男女の交わりとは無関係に、力強く勃起する。自然の精気が充満している証拠だ。朝から晩まで泣き叫んでも、声がかれない。自然に順応しきっている証拠だ。自然に順応しきるなら、遂には無窮の境地に到達する。無窮の境地を知ってこそ、明知といえる。ところが世の人々は、作為によって力をつけては、それが喜ばしいことだと考え、自然に逆らって私意を通しては、それが強さだと考えている。強壯のかけには必ず老衰が潜む。これを悟らず、強壯にのみ執着するのは、「道」にはずれた行為である。「道」にはずれた行為は長続きしない。原文：含徳之厚、比於赤子。毒蟲不螫、猛獸不據、攫鳥不搏。骨弱筋柔而握固。未知牝牡之合而作、精之至也。終日號而不嗶、和之至也。知和日常、知常曰明。益生曰祥。心使氣曰強。物壯則老、謂之不道。不道早已。爲學日五十六章に続く

